

特別支援教室とは—このような生徒を対象としています。

- 自分の気持ちや考えをうまく言葉で表現することができない。
- 場の雰囲気や人の気持ちを読み取る（感じ取る）ことが苦手で、友達との関係がぎくしゃくする。
- こだわりが強く、切り替えがうまくできない。
- 新しい場面や刺激の多い環境、急な予定の変更が苦手で、混乱してしまう。
- 授業には参加できても、聞く、話す、読む、書く、計算、推論など特定の分野が極端に苦手である。
- 黒板に書いてある内容の書き写しに時間がかかる。
- 授業中、常に体が動くなど、学習に集中できない。話が終わらないうちに答えてしまう。

特別支援教室での学習

- ・保護者や担任と連携しながら一人ひとりの連携型個別指導計画を作成し、個別学習の中で課題を改善、克服していくための指導・支援をしていきます。
- ・授業の形態や教材を工夫し、生徒の実態に合わせた指導を行います。
- ・「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の内容で自立活動を行います。

※自立活動とは

一人一人の生徒の実態に対応した活動であり、よりよく生きていくことを目指した主体的な取り組みを促す教育活動です。生徒が自立を目指し、様々な困難や悩みを主体的に改善・克服するために必要な知識・技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的な発達の基盤を培うことです。

学習上の困難への支援

見ることや聞くことの苦手さから学習が困難になることがあります。それぞれの特性に応じた学習方法の習得を支援し、自信と意欲を高めます。

行動上の困難への支援

日常生活で起こる様々な場面を想定し、自己をコントロールする力や他者の気持ちを知る方法、自分の思いを伝える手段を学びます。

自己理解や進路選択に関する支援

様々な悩みを抱える生徒に寄り添い、自己理解を深める手助けをします。将来の進路選択について考えながら、社会自立ができるように支援します。

<指導方針>

- 通室する時間については、在籍校と保護者、本人と話し合いの上決めていきます。（要望通りに組めないこともあります。）
- 在籍校、保護者との連絡を密にとり、十分な連携を図ります。

どこで学習をするのか？

- ・毎週決められた時間に、在籍校の特別支援教室で学習します。
- ・特別支援教室拠点校の教員が、特別支援教室を訪問して指導を行います。

教室紹介

個別学習で使用する
教室が2つあります。



運動に使用できるスペースもあります。

● SST (ソーシャルスキルトレーニング)

「あったか言葉とチクチク言葉」

人に言われて温かい気持ちになる言葉(あったか言葉)、嫌な気持ちになる言葉(チクチク言葉)について考えました。



● 生徒の作品「ペーパークラフト」

とても細かい作業が必要で、集中力や手先の巧緻性が求められます。



小松川二中グループ

拠点校 小松川第二中学校

巡回校 小松川第一中学校 小松川第三中学校

※特別支援教室についての詳細は、在籍校へお問い合わせください。